

日付	令和5年3月28日
担当所属	山梨県立図書館
	副館長 清水規与美

「やまなし子どもの読書情報 第25号」発行について

山梨県立図書館では、子どもの本や、子どもの読書活動に関する県内外の情報を発信する「やまなし子どもの読書情報 第25号」を発行しました。

今回は以下の特集記事を掲載しています。

- ・ 笛吹市石和図書館「りんごの棚」
- ・ 大阪府立中央図書館 YAチーム公式インスタグラム
- ・ 日本国際児童図書評議会（JBBY）ブックリスト「あしたの本だな」

山梨県立図書館内で無料配布しているほか、ホームページにてPDFデータを公開しています。

※PDFデータ掲載ページ（トップページ>山梨県子ども読書支援センター>発行物）

https://www.lib.pref.yamanashi.jp/kodomo_shien/shien_hakkou.html

問い合わせ先

山梨県立図書館 サービス課 子ども読書推進担当 司書 有野佐恵

TEL 055-255-1040 FAX 055-255-1042



子どもの本や、子どもの読書活動に関する県内外の情報をお届けします！

山梨県子ども読書支援センター（県立図書館内） TEL 055-255-1040 <https://www.lib.pref.yamanashi.jp/>

○県内図書館活動紹介○ 笛吹市石和図書館 「りんごの棚」

「りんごの棚」とは、特別なニーズのある子どもたちを対象とした児童書を展示した本棚です。スウェーデンで生まれ、世界各地に広がっています。県内公共図書館で初めて「りんごの棚」を設置した、笛吹市石和図書館の取り組みについて紹介します。



〈「りんごの棚」〉

〈なぜ「りんごの棚」を設置したのですか？〉

以前から点字の本のコーナーがあり、より多くの方に利用していただく方法を探していたところ「りんごの棚」の存在を知りました。この取り組みに感銘を受け、石和図書館では、2022年9月に「りんごの棚」を設置しました。“みんなが読書を楽しめるように”をテーマに、「障害の有無にかかわらず、すべての人が楽しめる資料」という観点で、資料を収集・展示しています。

〈「りんごの棚」にはどんな資料がありますか？〉

「りんごの棚」では、以下の資料を展示しています。

- ・点字付き絵本などの「点字の本」
- ・大きな文字で書かれている「大活字本」
- ・やさしくわかりやすいように工夫されて作られている「LLブック」
- ・ページに凹凸などがある「さわって楽しむ絵本」
- ・「手話について学べる本やDVD」

〈展示方法、工夫していることは？〉

図書館に入ってすぐの展示スペースに「りんごの棚」はあります。スウェーデンで生まれた「りんごの棚」の取り組みをたくさんの方に知っていただきたいと思い、図書館を利用される方の目に留まりやすいこの場所に設置することにしました。資料の背表紙にはりんごのマークのシールが貼ってあります。「りんごの棚」や、展示している資料についての簡単な説明も掲示しました。より詳しく知りたい方は、職員にお声かけください。



〈「りんごの棚」や資料の説明〉

〈貸出はできますか？どんな資料が人気がありますか？〉

すべて貸出可能です。貸出冊数と貸出期間は通常の資料と同じです。図書は1人20冊まで2週間、DVDは1人4点まで4日間借りられます。「りんごの棚」の本に興味を持った子どもやお母さんが借りていってくれるなど、今まで利用が少なかった資料の貸出が増えていきます。

今後、笛吹市内すべての図書館に「りんごの棚」を設置していく予定です。

※「りんごの棚」の設置にあたっては「りんごプロジェクト」（NPO法人ピープルデザイン研究所主催）及び、「公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 情報センター」に問合せをしました。



〈「りんごの棚」に並ぶ点字の本〉

◇◆アクセス◆◇

笛吹市石和図書館 https://library.city.fuefuki.yamanashi.jp/lib_isawa.html

〒406-0035 笛吹市石和町広瀬626-1（笛吹市スコレーセンター内） TEL:055-262-5959

開館時間 平日（月曜日を除く）：午前10時～午後9時 土・日・祝日：午前9時～午後5時

〇気になるトピック〇 大阪府立中央図書館 YAチーム公式Instagram

大阪府立中央図書館では、SNSで情報収集をすることが多いYA世代(12歳～18歳)に向け、Instagramを活用して情報を発信しています。YA世代の心をつかむための様々な工夫を伺いました。



〈どんな投稿をしていますか?〉

主な投稿内容は、YA展示コーナー新着図書紹介、毎年実施しているイベント「本のPOP広場」で過去に受賞した作品(POP)の紹介、YA向けのメディア化作品(映画・ドラマ・漫画)の紹介、その他YA展示コーナーでの展示紹介や他機関でのYA向けイベントの紹介などです。高校生から25歳までを対象とするイベント「若者ダンスカーニバル」に合わせた関連図書の展示の様子も投稿しています。ビジュアルをメインコンテンツとするInstagramは、特徴的な装丁・デザインの本、POPやイベントなどの紹介に向いています。

大阪府立中央図書館
YAチーム公式Instagram
https://www.instagram.com/osaka_pref_lib_ya/



OSAKA.PREF.LIB.YA

〈投稿を作る時、工夫している点は?〉

紹介する本を撮影する時は、少しでも目を引くように、装丁の雰囲気に合わせて背景を変えています。本文はライトな語り口で、絵文字や顔文字を使い親しみやすさを感じられるようにしています。ハッシュタグも積極的に活用し、オリジナルのハッシュタグを作成するなど、より多くの人に関心を持ってもらえるよう工夫しています。

〈周知方法は?〉

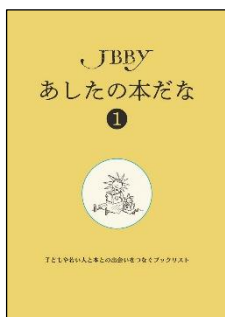
アカウント開設の際は、QRコードが印刷されたカードを作り、YAコーナーや各階のチラシ置き場などに設置しました。QRコードを中心に配置したプレゼントボックスのデザインで、クラフト紙や色厚紙を使用し、持ち帰りたくなるように工夫しました。図書館職員や学校図書館司書向けの研修時や、中高生が図書館見学に来館した際に配布しました。



〈QRコードが印刷されたポスターやカード〉

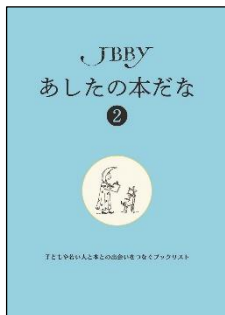
〇県外ニュース〇 日本国際児童図書評議会(JBBY) ブックリスト「あしたの本だな」

日本国際児童図書評議会(JBBY)は、少年院、少年鑑別所からの「おすすめリストがほしい」という要望を受け、2022年にブックリスト「あしたの本だな①・②」を発行しました。リストの内容や活用方法について伺いました。



対象 10代の子どもたちを中心対象としていますが、どの年齢でも参考にいただけます。少年院、少年鑑別所以外でも、生きづらさを抱えた子ども、本に苦手意識を持っている子ども、本に触れる機会が少なかった子どもたちにおすすめの本を集めました。

内容 ①は、本の世界への入り口として、手に取りたくなるような魅力的な表紙の本、67冊を選びました。ぜひ、表紙を見せて並べていただきたいです。食べ物についての本、笑える本など6つのジャンルに分かれており、思わず息をのむ絶景やおもしろい動物の顔の写真集なども入っています。②は、本に慣れてきた子ども向けの108冊です。読み応えのある本だけでなく、入門書としておすすめの絵本もあり、多様な分野への興味や関心につながります。



種類 冊子版(大人やティーンエイジャー向け)とカード式(子ども向け、よりわかりやすい紹介文、総ルビ)の2種類があります。どちらも短い紹介文と、難易度、内容のキーワードなどが掲載されています。

活用方法 ホームページからデータをダウンロードし、図書館資料としての登録、貸出も可能です。掲載本の展示を行う際は、ブックリスト名、発行者(JBBY)を明記してください。特に許諾は必要ありませんが、広報のために、開催期間や内容、展示の様子がわかる写真などを、可能でしたら送付してください。ブックリストのデータは、展示本の説明としてもご利用いただけます。

〈「あしたの本だな」
①・②冊子版〉

ブックリストのデータ(PDF)のダウンロードはこちらから
日本国際児童図書評議会(JBBY)ホームページ <https://jbbby.org/ashitanohondana>